

都留市地名考

その二十六

窪田 薫

○や村 (二) <終稿>

矢作とは矢つくりのごとで、『三代実録』によると貞観一四年(八七二)三月廿日記に、「甲斐国都留郡大領矢作部宅雄、少領矢作部毎世姓賜矢作部連」とある。大領も少領も郡司(郡長)の役職名で、当時都留郡を統治していたことが知られる。

郡戸(郡役所)の位置はその頃都留市古川渡付近で、矢作部連の本拠地は同市の与繩周辺であったことが推察される。与繩日向の御嶽神社の御神体として矢ノ根石(黒曜石、一〇センチ・四センチ)が合祀され、裏山を矢竹山という。

都留郡の俚語に、「いなか竹でも七ふし八ふし、やむら矢竹にふしはない」という歌がある。やがらは七ふしか八ふしあるのがよいとされている。

2 中世から近世

鎌倉時代、や村の鍛冶屋坂に居住していた稀代氏は、建久四年(一一九三)源頼朝が富士の巻狩

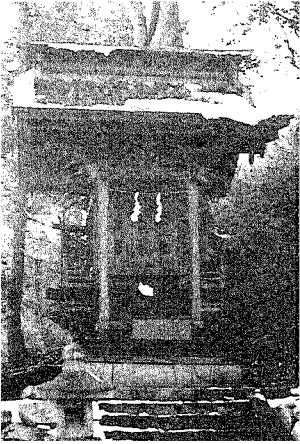
の際矢ノ根の製作を命ぜられ、その功により稀代姓を賜ったと伝えられている。

都留市立病院の建設用地を、事前に発掘調査(道生掘遺跡)した際、中世時代と思われる鑄矢が出土した。鑄矢は空中で音を発し、敵に対し戦闘開始を通告するため、相互で放たれる矢である。

近世、都留郡勝山城は文禄三年(一五九四)谷村城主淺野氏重が、その要害城を敵の鉄砲の攻撃から防禦するため改築したもので、弓矢からすでに鉄砲の時代に入ったことが知られる。

その後谷村藩主として秋元氏三代(泰朝、富朝、喬知)が、寛永一〇年から宝永元年まで七十一年間都留郡を統治したが、喬知が武州川越に転封する際、小仏の関所を通過する時の荷物の覚え書に、鉄砲の所有数として一〇七二挺が記されていた。

終稿にあたり、一言付言したい。地名は歴史の化石、文化遺産とい



与繩日向に祀る御嶽神社

われる。しかし近現代において市町村の合併や住居表示の変更および我国をはじめ中国でも漢字が略字化され、地名の解説が一層困難になったのは残念である。二年余にわたる皆様のご講読を感謝し擱筆する。

新一年生の放課後は

谷村地区学童保育会 「さわやか教室」で

小学校に入学されるお子さんをもつお父さんお母さん。かわいなお子さんの学校生活を楽しみにされていることと思います。

市役所西別館にある「さわやか教室」は小学一年生から三年生までの児童を月曜日から金曜日まで毎日、放課後から午後五時までお預かりしています。指導員二名とボランティアの方々により遊びなどを主体に生活指導を行っており、保護者の方々からは安心して働くことができ、子供の充実した成長を実感できると好評をいただいています。放課後は「さわやか教室」にお子さんをお預けください。ただいま「さわやか教室」では、新しいお友だちを募集しています。お気軽にご見学いただき、何なりとご相談ください。

申込・問合せ先 さわやか教室
☎(45) 1224
市教育委員会 社会教育課

ふるさとの

三月

9日 月おくれの初午 市内各地
(特に普門寺の豊川稲荷は大規模である)
10日 琴平さん 富春寺
24日 愛宕神社春祭り 九鬼
25日 落合天神社 古川渡

尾県郷土資料館特別事業

ふるさとの山々登山会

春に高川山・秋に御正体山と皆さんと登山をしてきましたが、今回の登山で最終回となります。

今回は眼下に山中湖、富士山を眺む標高1413メートルの都留市最南端の山、石割山に3月27日(日)に登ります。

回りを山々に囲まれたふるさと都留市ですが、なだらかな尾根道を登っていくと、ここでは今までとは違った地形や景色に出会えます。

※ 事前学習会

日時 3月17日(木) 午後7時～9時
会場 尾県郷土資料館
内容 都留市の地形・自然
春から夏にかけてのかしこい登山について
講師 樫の木山岳会会員
定員 30名
締切 3月12日(土)
申込・問合せ先 尾県郷土資料館 ☎45-0675
(火・木・土・日・祝日) 午前10時～午後4時
市教育委員会社会教育課(月～金)

クラブ員募集!!

都留少年少女発明クラブ

入会資格: 都留市内の小学校四年生から中学二年生までの児童・生徒で年間を通じて活動できる人。
活動日: 原則として第二土曜日(午前9時30分より)と第四土曜日(午後1時30分より)。ただし夏休み等には三日間程連続して活動します。

参加費用: 無料。ただし各自のアイデア工作に要する費用は自己負担とし、共通の工作材料はクラブで負担します。

申込・問合せ先 市教育委員会
募集締切日 4月15日(金)
社会教育課
(ただし、定員30名になり次第締め切ります。)

